

新たに 4 期生 3 名を迎え、江南教室 2 学期がスタートしました。今学期もどうぞよろしく
お願いいたします。今号は日本語と教科の統合学習の実際について、教科指導員のコラムを
掲載して紹介します。

江南教室では、初期日本語指導だけでなく、教科（数学科、英語科、
社会科）と日本語の統合学習（JSL カリキュラム）を行っています。
特に英語科と社会科では、教科の枠組みにしばられない教科横断的な
トピックを設定しています。そして、日本語レベルの差はあっても一
斉で学習し、生徒同士の教え合い学び合いの力を育む授業スタイルに
しています。



JSL 社会科指導 ～外国人児童生徒教科指導員 竹村知子



社会科の授業は、

- ①タブレットを使って調べる
 - ②調べたことを発表する
- を軸に組み立てています。



目標は短く提示。絵や地図などの視覚支援を多く活用します。

1. タブレットを使って調べる

例えば地理の学習では、タブレットを活用して、母国で住んで
いた町、在籍校、来日してから行ったことがある場所などを調べます。
調べた事柄は、予め提示した日本語文型に当てはめてまとめます。
クラスメートに伝えるために画像を取り入れ、もっと伝えたいこと
があれば日本語での表現方法を母語通訳者に訊ねたりして、独創性
のある発表資料を作成する生徒もいます。



中でも生徒たちが盛り上がるのが母国の紹介です。歴史的建造物、
観光地、美味しい食べ物について、母国での知識や経験を活かしな
がら生き生きとした表情で作成しています。日本で暮らすことにな
っても母国を忘れないでいてほしいという思いから、母国について
日本語で紹介する学習に取り組んでいます。



縄文時代と弥生時代の暮らしを比較して、変化の理由を
考える学習です。

2. 調べたことを発表する

完成した資料は毎回生徒が発表に使います。出身国によっては発表資料の
作成や発表経験が皆無の生徒もあり、1分に満たない発表であっても、人前
で話す（ましてや覚えたての日本語で話す）ことはとても壁が高いです。

しかし、発表後に拍手をもらうと、満足そうに、安堵した顔をするのがと
ても印象的です。聞き手の生徒もよく聞いています。授業後には「これは何
？」とたずねて友達の国の文化を知ろうとしたり、同郷の仲間と懐かしく話
したりする姿も見られます。様々な国の生徒がいるからこそできる学習です。



母国の有名な建造物
を紹介しています。

社会科学習に限らず、日本語を使って意見や感想を伝え合う学習経験が、在籍校での自信に繋
がることを期待しています。生徒は仲間との協働的な学びを通して、新しい語彙・文化・価値観
に出会います。今後その学びを支える JSL 教材をより充実させたいと考えています。